

令和元年10月31日
愛媛大学

社会共創学部「松山アートまちづくり寄附講座」（松山ブンカ・ラボ）支援事業
**松山ブンカ・ラボ×NPO 法人クオリティ・アンド・コミュニケーション・オブ・アーツ
シンポジウム『いきる、つくる、くらす～解き放つアート』開催**

愛媛大学社会共創学部「松山アートまちづくり寄附講座」では、11月2日（土）、松山ブンカ・ラボシンポジウム『いきる、つくる、くらす～解き放つアート』を開催します。

このイベントは、芸術文化を通してひとりひとりの表現や生活を大切にする社会づくりを目指す市民参加プログラムで、生活者の視点から、表現とアートについて考えを深めていきます。今回は4人のゲストをお招きし、表現をする人、支える人、見る人の視点から、生活とアートの関係を議論していきます。

つきましては、是非取材くださいますようお願いいたします。

記

日時：令和元年11月2日（土）14時00分～17時00分

会場：愛媛大学城北キャンパス 南加記念ホール

参加費：無料

定員：250名

申込み：メール（bunkamatsuyama@gmail.com）または、

参加フォーム（<http://bit.ly/2QTO4zT>）からお申込みください。

※当日参加可

登壇者：ヴィヴィアン 佐藤（美術家、文筆家、非建築家、ドラッグクイーン）

上田 假奈代（NPO 法人こえとことばとこころの部屋、詩人）

久保田 翠（NPO 法人クリエイティブサポートレッツ）

都築 響一（作家、編集者、写真家）

【総合司会】戸舘 正史（愛媛大学社会共創学部助教、松山ブンカ・ラボディレクター）

※送付資料2枚（本紙を含む）

本件に関する問い合わせ先

社会共創学部 戸舘正史

TEL：070-3795-5403（9:00～19:00）

Mail: todaye.masafumi.xc@ehime-u.ac.jp



松山ブンカ・ラボ
×
NPO法人クオリティ・アンド・コミュニケーション・オブ・アーツ

シンポジウム

いきる、つくる、くらす

～ 解き放つアート

多様化するアートと表現について考える（文化、教育、福祉の視点から）

生活者の視点から、表現とアートについて考えを深めていくシンポジウムです。

表現活動は、アーティストと呼ばれる人たちだけのものではありません。

生活のなかで、うれしくなって鼻歌をうたったり、かなしくなって想いを綴ったりするのもまた表現でしょう。

ささやかな表現とその人らしさを大切に、ひとりひとりに寄り添う場や機会をつくっている事例をとおして

「私」とアートを結び議論を重ねていきます。

2019
11/2 土
14:00-17:00
[開場] 13:30～

会場 愛媛大学 城北キャンパス
南加記念ホール
(〒790-0826 松山市文京町3番)
※公共交通機関をご利用ください。

定員 250名

参加
無料

パネリスト ヴィヴィアン佐藤 / 上田 假奈代 / 久保田 翠 / 都築 響一
[敬称略・五十音順] 美術家、文筆家、非建築家、ドラッグクイーン / NPO法人こえとことばとこころの部屋、詩人 / NPO法人クリエイティブサポートレッツ / 作家、編集者、写真家

愛媛大学 社会共創学部

松山ブンカ・ラボ

ART NPO
QaCoA
Quality and Communication of Arts

主催：愛媛大学社会共創学部 松山ブンカ・ラボ 共催：松山市、松山市文化創造支援協議会 後援：松山アーバンデザインセンター
企画：NPO法人クオリティ・アンド・コミュニケーション・オブ・アーツ、松山ブンカ・ラボ

松山ブンカ・ラボ × NPO法人クオリティ・アンド・コミュニケーション・オブ・アーツ

シンポジウム

いきる、つくる、くらす ～ 解き放つアート

パネリスト [敬称略・五十音順]

ヴィヴィアン佐藤 Vivienne Sato

美術家、文筆家、非建築家、ドラッグクイーン、プロモーター。ジャンルを横断して独自の見解ですべて分析。自身の作品制作発表のみならず、「同時代性」をキーワードに映画や演劇、都市など独自の芸術論で批評を展開。青森町おこしコンサルタント、尾道観光大使。サンミュージック提携。



<http://cslets.net>

上田 假奈代 Ueda Kanayo

詩人・詩業家。1969年吉野生まれ。3歳より詩作、17歳から朗読をはじめ。「ことばを人生の味方に」と活動する。2003年大阪・新世界で喫茶店のふりをした拠点アートNPO「ココローム」を立ちあげ、2008年西成・釜ヶ崎に移転。2012年、まちを大学にみたてた「釜ヶ崎芸術大学」、2016年「ゲストハウスとカフェと庭ココローム」開設。大阪府立大学都市研究プラザ研究員。2014年度文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞。



Photo by 村山康文

久保田 翠 Kubota Midori

認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ代表理事。東京芸術大学大学院修了後、環境デザインの仕事に従事。長男の出産をきっかけに、2000年にクリエイティブサポートレッツ設立。2010年障害福祉サービス事業所アルス・ノヴァスタート。2018年たけし文化センター連尺町をオープン。2017年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。



<http://cslets.net>

都築 響一 Tsuzuki Kyochi

1956年東京生まれ。ポパイ、ブルータス誌の編集を経て、全102巻の現代美術全集『アート・ランダム』（京都書院）を刊行。以来現代美術、建築、写真、デザインなどの分野での執筆・編集活動を続けている。96年刊行の『ROADSIDE JAPAN 珍日本紀行』（アスペクト、のちちくま文庫）で、第23回木村伊兵衛賞を受賞。2012年より個人で有料メールマガジン『ROADSIDERS' weekly』を毎週水曜日に配信。



<http://www.roadsiders.com/>

お申し込み

お問い合わせ

メール または 参加フォーム(QRコード) よりお申し込みください。

mail bunkamatsuyama@gmail.com

参加フォームはこちら

